

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	生物	
科目基礎情報							
科目番号		0006		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		創造工学科 (機械コース)		対象学年	1		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		第一学習社(株)高等学校生物基礎 吉里勝利他,スクエア最新図解生物					
担当教員		南 淳,久保 響子					
到達目標							
最新の分子生物学や生物工学の理解に欠かせない、生物学の初歩を修得していること。すなわち、真核生物の細胞、光合成と呼吸、遺伝子のはたらきの基本について説明できること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		光合成の過程をエネルギーの出入りの観点から説明できる。		光合成の過程を葉緑体の構造と結びつけて説明できる。		光合成とは何であるか説明できない。	
評価項目2		遺伝現象を遺伝子の働きから説明できる。		遺伝子の遺伝と発現の基礎を説明できる。		遺伝子とは何か説明できない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		生命の本質を探る手がかりとして、多種多様な生物にも共通する特徴が見られることと、生物の特徴は遺伝子の働きによって決まることが理解できる					
授業の進め方・方法		後期中間試験 (40%)、後期期末試験 (40%)、課題レポート (10%)、授業の取り組み態度 (10%)などを総合評価する。総合評価50点以上を合格とする。					
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
	2ndQ	8週					
		9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	自然科学	ライフサイエンス/アースサイエンス	ライフサイエンス/アースサイエンス	地球上の生物の多様性について説明できる。		3	
				生物の共通性と進化の関係について説明できる。		3	
				生物に共通する性質について説明できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	10	0	10	100
基礎的能力	80	0	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0